

研 修 コ ー ス の 概 要

施設名 総合病院山口赤十字病院

1. 研修コース名 山口赤十字病院内科後期研修コース

診療科名 内科

2. 研修コースの種別

「日本赤十字社認定臨床医コース」・「日本赤十字社認定専門医コース」

3. 研修期間

4年間

4. 研修コースについて

(1) 目的

内科学全般を広く研修し、医療の細分化・専門化のなかで必要とされる総合診療内科医（general physician）としての基盤をもち、消化器、呼吸器、内分泌・代謝、リウマチ・膠原病、腎臓の内科専門医としても社会に貢献できる臨床医を育成する。

(2) 到達目標（目標、長期目標、一般目標、取得手技、コンセプト等）

- ・プライマリーケアや救急医療にも対応できる、内科全般にわたる知識と技術を習得し、外来・入院診療を担当できる能力を身に付ける。
- ・病棟回診、内科カンファレンスに参加し、医療チームの一員として診断方法や治療方針を立案し、必要に応じて他職種や他診療科との連携を迅速に行う能力を習得する。
- ・消化器疾患、呼吸器疾患、膠原病、糖尿病・内分泌疾患、腎臓病疾患、感染症、脳血管障害、循環器疾患など内科疾患全般にわたり病態・疾患について理解し、診断・治療に必要な臨床能力を身につける。
- ・穿刺検査、生検、超音波検査、内視鏡検査、造影検査、内分泌機能検査など、診療に必要な検査手技を身につけ、さらに内視鏡治療・化学療法、救急処置などの技術を習得する。
- ・症例カンファレンス、文献抄読会などに積極的に参加し、筆頭者として症例報告や臨床研究を学会・学術誌に発表する視点や表現する能力を身につける。
- ・NST（栄養サポートチーム）の一員として参加し、栄養士・看護師・薬剤

師・ST・PT 等、他職種と協力して、栄養管理を考え、適切にアドバイスできる能力を身につける。

- ・コース終了時には、日本内科学会認定内科医を習得した上で、内科専門医の資格習得を目標とする。さらに、消化器、消化器内視鏡、呼吸器、呼吸器内視鏡、糖尿病、内分泌・代謝科（内科）、膠原病、腎臓など希望する領域の専門医の資格を取得するための申請準備を行う。
- ・日本救急医学会専門医に合格できる程度の疾患や技術を経験し、習得する。
- ・月に3～4日、救急夜間診療に属する期間を通じ、基本的な救急疾患の診断・治療を習得する。

年次別の到達目標

1年目	プライマリーケア・救急医療の習得と実践・内科診療全般の研修を追加し、認定内科医の資格を習得する。基本的な検査・治療手技を学ぶ。
2年目	一般内科診療に加え、消化器・呼吸器・内分泌代謝・膠原病・腎臓の5分野のうち希望する分野の疾患や病態についてより専門的な知識・技術の習得を開始する。
3年目	内科医として自立して診療を行うことができ、特に専門を志す分野の診療では、専門的な診断・治療行為を自立して行い、研修医の指導を行える。
4年目	入院診療では、診療科のチーム医療の中心的役割を担い、外来診療を独立して担当できる。内科専門医ならびに希望する内科分野（消化器・呼吸器・糖尿病・膠原病・腎臓）の専門医資格取得の申請準備を行う。

1 週間の行事予定

月	火	水	木	金
内視鏡、消化管 X線*1	内視鏡、透析 *1	内視鏡、透析 *1	内視鏡、透析 *1	腹部エコー *1
NST 病棟回診 (S5) NST:nutrition support team	大腸内視鏡 気管支鏡	NST 病棟回診 (E6) 内視鏡 フィルム チ ェック (16: 00~)	心エコー トレッドミル テスト NST 病棟回診 (S6)	病棟総回診* 入退院紹介* (15:30~)
	文献抄読会 (毎週) (17: 30~)	糖尿病研究会 (第3)	NST 勉強会 (第1、3) 3科合同カン ファレンス (第2、4) 透析カンファ レンス (第2、 4)	薬剤説明会 (第1、2、4) 症例検討会 (カンファレ ンス) (第4) 医局会 (第3)

*1 : 内視鏡、消化管 X 線、気管支鏡、透析、心エコーは自由選択

* : 第 1S5、第 2E6、第 3S6、各病棟にて

年間行事 : CPC/剖検例 : 臨床病理カンファレンス (年 1 回、5 月)、ICLS 講習会 (年 2 回)、山口 CD サークル (年 2 回、クローン病患者、家族と医師コメディカルの合同勉強会)、地域 NST 連絡会議勉強会 (年 3 日、山口地域の NST 関連、コメディカルと連携合同)、山口胃と腸大会 (年 1 回、県内施設より読影検討研究会)、マーゲン会 (2 ヶ月に 1 回、月末の水曜日 19 時より : 済生会病院と交代で市内の開業医と症例検討)、周防消化管研究会 (年 3 回、県内東地区施設より 4~5 例の読影検討研究会)、山口糖尿病草の根会 (年 3 回) (開業医、コメディカルとの勉強会)、糖尿病地域医療勉強会 (年 2,3 回) (済生会山口総合病院、小郡第一総合病院、開業医との勉強会)、山口県小児糖尿病患者会交流会・キャンプ (各年 1 回)、山口県がんチーム医療研究会 (年 2 回)、山口県呼吸器疾患研究会 (年 2 回)、山口中央・呼吸ケア研究会 (年 1 回)、山口 YYY の会 (呼吸器症例検討会) (年 4 回)、西京呼吸器疾患懇話会 (年 2 回)、県央呼吸器疾患症例検討会 (年 3 回)

(3) 赤十字としての特色

・救急医療

平日の内科系救急医療の first call を担当するとともに、夜間・休日の救急外来診療・当直業務を担当する。ICLS、救急救命医療に必要な技術の資格を取得する。

・災害医療

当院、支部、県や市が主催する災害救護訓練や演習に参加する。

・国際救援

本社等の主催する国際救護協力要員研修会等には積極的に参加する。

(4) 協力医療施設名

・

5. 研修コース責任者

・職 第一内科部長

・氏名 末兼 浩史

・連絡先 電話番号 083 (923) 0111 内線 ()

メールアドレス yrch@c-able.ne.jp

6. 診療科の指導体制

(1) 医師数 合計 14 名

常勤 14 名、非常勤 0 名

うち、研修の指導にあたる医師数 6 名

(2) 指導責任者

主として研修指導にあたる医師の職・氏名、診療科経験年数

・職 第一内科部長

・氏名 末兼 浩史

・診療科経験年数 25 年

・連絡先 電話番号 083 (923) 0111 内線 ()

メールアドレス yrch@c-able.ne.jp

7. 募集

(1) 募集人数 4 名

(2) 募集方法 (複数可)

自院の初期研修医から 他赤十字病院の初期研修医から 自院及び他赤十字病院の日本赤十字社認定臨床医コース研修医から インターネット・医学系雑誌・院内報・大学病院へ直接・他医療機関に直接・その他 (具体的に)

※本研修コースが日本赤十字社認定専門医コースの場合、「自院及び他赤十字病院の日本赤十字社認定臨床医コース研修医から」に○を付すること。

8. 取得可能資格等

学 会 名	取得可能資格	学会の研修施設等指定・認定状況
日本内科学会	認定内科医	認定医研修施設
日本消化器病学会	消化器専門医	認定指導施設
日本消化器内視鏡学会	消化器内視鏡専門医	認定指導施設
日本腎臓学会	腎臓学会専門医	研修施設
日本リウマチ学会	リウマチ学会専門医	教育施設
日本透析医学会	透析専門医	認定施設
日本呼吸器学会	呼吸器学会専門医	認定施設

9. 研修期間中に経験する症例等について

(1) 症例数

主 要 疾 患 名	症 例 数	経験目標症例数	実施施設名※
急性胃腸炎	120	10	
炎症胃腸疾患	200	15	
眩暈・意識障害	50	5	
敗血症	50	5	
肝細胞癌	150	10	
消化管出血	120	10	
慢性腎不全、ネフローゼ	200	15	
肺炎	360	27	
膠原病、リウマチ	200	20	
気管支喘息	80	8	
糖尿病	520	40	
甲状腺・副腎疾患	30	5	

※他の医療機関で研修する症例のみ、当該医療機関名を記載すること。

(2) 手術又は手技等件数

手術又は手技等	手術又は手技等件数	経験目標件数	実施施設名※
上部消化管内視鏡	3500/年	300	
下部内視鏡	1200/年	100	
内視鏡的膵胆管処置 (ERCP/EST)	110/年	10	

※他の医療機関で研修する手術又は手技等のみ、当該医療機関名を記載すること。

(3) 赤十字医療施設としてのプログラム

ア 救急医療について

主要疾患名又は手技等	症例数又は手技等件数	経験目標症例数又は件数	実施施設名※
急性腹症	200	20	
消化管出血	120	10	
呼吸不全	60	6	
脳血管障害	250	25	
発熱・脱水	50	5	

※他の医療機関で研修を受ける救急医療のみ、当該医療機関名を記載すること。

イ 災害医療について

災害救護訓練へ積極的に参加する

ウ 国際救援について

国際救護協力要員養成研修会などに積極的に参加する

エ 資格認定試験等への対応について

当院内科は内科学会、消化器病学会、消化器内視鏡学会、呼吸器学会、腎臓学会、透析医学会認定施設である。4年間の後期研修中に内科学会認定医内科医の資格が習得でき、当院単独の研修にて、前述の学会の認定医・専門医などの受験資格を得ることが可能である。

オ その他

地域での赤十字活動へ参加する